



すくすく子育て

@Wakayama



2020年12月24日発行

すくWAKA通信 第4号

発行責任者 佐藤洋一

はば広く住民の声を集め、なかまをつくり、声をあげていこう！

こじか園 親の会と懇談しました！

こじか園親の会は、毎年秋におこなわれる対市交渉で、要求実現のために毎回入念な資料を準備して交渉に臨まれています。

この度、こじか園親の会から和歌山市の大運動実行委員会に懇談の申し入れがあり、すくすく子育て代表の佐藤洋一医師が参加して12月3日（木）にこじか園にて懇談会を実施しました。発達障がいのある子どもを取り巻く環境にはさまざまな課題がありますが、今回は「療育手帳の交付対象の見直し」についての項目を焦点に、意見交流を行いました。



すくすく子育て代表の佐藤洋一医師

◆点数でなく子どもの生きづらさで判断してほしい

行政の支援を受けるためにも、発達障がいのことを周りに理解してもらう手段としても、療育手帳の有無は切実です。

しかしながら、発達障害の診断を受けていても、知能指数が判定基準を上回ると療育手帳が交付されません。その場合、精神障害者保険福祉手帳の申請をすすめられることがあります。診断書が大人向けで「アルコール」や「覚せい剤」などの項目があり、親としては複雑な心境になります。「療育手帳を知能指数の点数で区切るのではなく、生きづらさで判断してほしい」といった親の思いが語られました。

◆支援につながる療育手帳にしていく運動へ—— つながろう、声をあげよう！

佐藤医師からは、「療育手帳の矛盾は私たちも実感している。また、診断書の項目は昔に比べると細かな記載を求められるようになり、申請しにくくなってきている」などの問題が指摘されました。精神障害者保険福祉手帳に関しては、療育手帳に該当しなかった子どもを救済するために、「自閉症スペクトラム障害」に該当する項目が新設されているそうです。ただし、知的障害のない自閉症スペクトラム障害児が受給できる精神障害者保険福祉手帳は2級の場合が多く、この場合には手帳が交付されても利用できるサービスが限定的でとても使いづらいという課題があります。

知能指数に関係なく療育手帳を交付している自治体もあり、和歌山市はまだまだ立ち遅れています。立場を越えてつながり、広がりを持った運動をつくっていくことが求められています。



◇療育手帳の交付対象の見直しについて (10/20 国民要求実現和歌山市大運動より)

質問事項)

- ・昨年度、療育手帳の交付申請または更新した方の内、交付の対象にならなかった方は何名ですか。また、何名の方が精神障害者保険福祉手帳の交付申請をされましたか。
- ・昨年度の対市交渉では、療育手帳の基準値の指数が75までとの回答でしたが、県のホームページでは、「概ね75」と記載されています。指数だけの結果ではなく、子どもたちの生きづらさの部分をより考慮していただき、判定を柔軟に対応していただけるように市から県に働きかけ、協議していただけないでしょうか。

回答要旨)

- ・申請者35人が対象にならなかった。75の指数基準を対象としている。

～懇談会より～

- こじか園に入れなかった子どもをもつ親は孤独で切実。苦しくても助けをほしいといえない。発達障がいの子どもの持つ親は、集まりがあっても「迷惑をかけちゃうんじゃないか」と参加をためらいがち。子育ての悩みを相談できるゆるやかな居場所づくりができれば…。
- 知能指数に関係なく、自閉症の診断だけで療育手帳を交付してくれる自治体もある。和歌山市では同じ自閉症でも、療育手帳が出る子と出ない子がいる。和歌山市は住民の方を向いていない。
- 和歌山県は、国の言うことのオウム返しでしかない。現場の大変さに聞く耳をもたない。しかし、各自治体ではインフルエンザワクチン助成等、住民の声が届いた所もある。どう運動をつくっていかかが課題。



こじか園親の会との懇談の様子



ともに子育て環境を
よくしていきましょう！

事務局員を募集しています！

現在、8名の事務局員で活動しています。月に1度のペースで事務局会議をおこない、学習会などを企画して運動をすすめています。医師、市議員、保育士、看護師、事務など、さまざまな団体の多職種で構成しています。ご興味をお持ちの方は、下記までお問い合わせください。

子どもたちの健康を守るためには、乳幼児期の環境が重要だと考えるようになり、近年の子どもたちが置かれている厳しい生活をみるにつれ、このままでは子どもたちの健全な発達が保障できないのではないかと考えるようになりました。そこで、私は、「和歌山市における就学前の子どもたちに健やかな発達保障を実現する会」を立ち上げることを決めました。この会は、和歌山市における就学前の教育・保育や子育て環境について、医療・保健・教育・行政・保護者などが集い、それぞれの現状と課題を共有し、幼児期の保育・教育や子育ての環境を充実するための活動をします。

生協こども診療所 佐藤洋一



すくすく子育て@Wakayamaは、会の活動に賛同してくださる方を募集しています。

お問い合わせは ♪

TEL 073-441-5090

和歌山民医連 (事務局・浅見)

